

## 26 筋ジス症（児）者の生活指導及び心理研究

国立療養所宇多野病院

中西 孝

進行性筋ジストロフィー症デュシャンヌ型患者の知能については、以前より数多くの研究報告がなされ低IQ児の多いことが指摘されている。

今回、進行性筋ジストロフィー症の類似疾患である脊髄性筋萎縮症児の知能について、WISC知能検査をしてきた結果を報告する。

当宇多野病院に入院している脊髄性筋萎縮症児のうち7名についての知能検査は、全IQが、65から113の幅であり、1名がIQ65と低値を示した。7名の全IQ平均は94.9であり、知能段階で正常値中の段階に値している。

次に言語性IQと動作性IQについてみると、言語性IQの平均値が93.4であり、動作性IQの平均が97.3でありその差が3.9となった。

次に検査項目別に評価点平均から検討してみると、一般的知識で7.9、一般理解で8.6、算数問題で9.9、類似問題で7.6、単語問題で6.7、数唱問題で13.4、絵画完成で10.3、絵画配列で8.4、積木模様で9.1、組み合わせ問題で8.9、符号問題で9.3、迷路問題で11.4となった。

以上のことから、症例が7名と少ないが、脊髄性筋萎縮症児の知能については、正常グループに属すると思われる。

↓  
**検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります  
↓

進行性筋ジストロフィー症デュシャンヌ型患者の知能については、以前より数多くの研究報告がなされ低IQ児の多いことが指摘されている。

今回、進行性筋ジストロフィー症の類似疾患である脊髄性筋萎縮症児の知能について、WISC 知能検査をしてきた結果を報告する。

当宇多野病院に入院している脊髄性筋萎縮症児のうち7名についての知能検査は、全IQが、65から113の幅であり、1名がIQ65と低値を示した。7名の全IQ平均は94.9であり、知能段階で正常値中の段階に値している。